

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-137961

(43) 公開日 平成4年(1992)12月22日

(51) Int. Cl. <sup>3</sup>	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 1 D 27/00	S	9255-3D		
F 2 4 F 7/06	C	6925-3L		
H 0 1 L 21/68	A	8418-4M		

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21) 出願番号 実願平3-46561

(22) 出願日 平成3年(1991)6月20日

(71) 出願人 000001834

三機工業株式会社

東京都千代田区有楽町1丁目4番1号

(72) 考案者 本木 満

東京都千代田区有楽町一丁目4番1号 三

機工業株式会社内

(72) 考案者 角 輝

東京都千代田区有楽町一丁目4番1号 三

機工業株式会社内

(72) 考案者 北村 英樹

東京都千代田区有楽町一丁目4番1号 三

機工業株式会社内

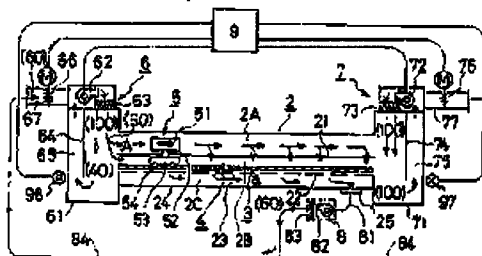
(74) 代理人 弁理士 丹羽 宏之 (外1名)

(54) 【考案の名称】 リニアクリーンチューブ搬送装置

(57) 【要約】

【目的】 リニアクリーンチューブ搬送装置において、運搬車両の進行方向へ常に清浄空気を運搬車両速度に近い風速で送風することにより、運搬車両の後面後方に渦流を発生させず残留粉塵の舞上りを防止するとともに、前面の空気抵抗を減殺する。

【構成】 クリーンチューブ2の両端に、ダンパ付き新鮮空気導入管67、77、送風機62、72、HEPAフィルタ63、73及び空気循環路65、75を備えた一対の空気供給装置6、7を、常に運搬車両5の進行方向へ向けて送風エリア2A及び進行エリア2Bへ清浄空気Aを運搬車両5速度に近い風速で送風するように設置し、かつ、過気エリア2Cに、過気aを吸引排出する排風機8を設けて構成した。



1

2

## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 クリーンチューブの両端に、ダンパ付き新鮮空気導入管、送風機、HEPAフィルタ及び空気循環路を備えた空気供給装置を、常に運搬車両の進行方向へ向けて搬送エリア及び走行エリアへ洗浄空気を運搬車両速度に近い風速で送風するように設置するとともに、還気エリアに、還気を吸引排出する排風機を設けて構成したことを特徴とするリニアクリーンチューブ搬送装置。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係るリニアクリーンチューブ搬送装置の一実施例を示す模式図で、運搬車両右行時の状況を示す図である。

【図2】 同じく運搬車両左行時の状況を示す模式図である。

【図3】 従来のリニアクリーンチューブ搬送装置の構成を示す模式図である。

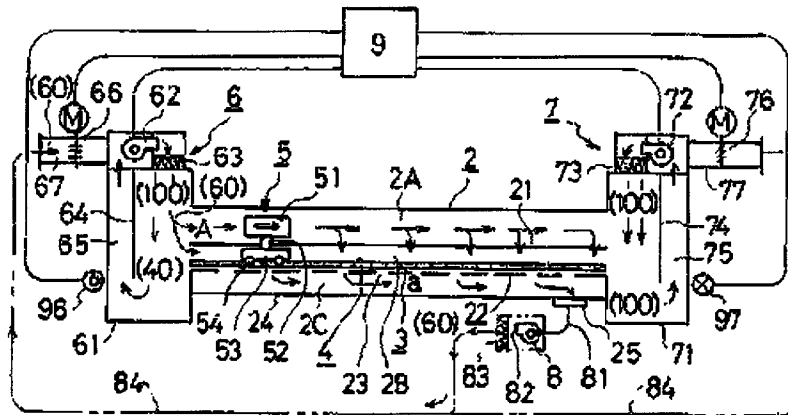
## 【符号の説明】

- 1 リニアクリーンチューブ搬送装置  
2 クリーンチューブ

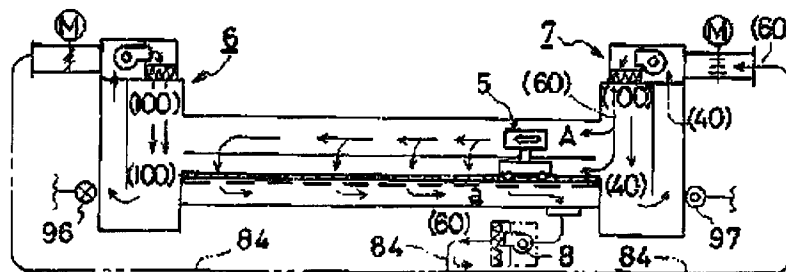
- 2A 搬送エリア  
2B 走行エリア  
2C 還気エリア  
5 運搬車両  
6 空気供給装置  
7 空気供給装置  
8 排風機  
62 送風機  
63 HEPAフィルタ  
65 空気循環路  
66 ダンパ  
67 新鮮空気導入管  
72 送風機  
73 HEPAフィルタ  
75 空気循環路  
76 ダンパ  
77 新鮮空気導入管  
A 洗浄空気  
a 還気

20

【図1】



【図2】



【図3】

